

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月8日

東

上場会社名 ニチアス株式会社 上場取引所  
 コード番号 5393 URL <https://www.nichias.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 中田 公敬 (TEL) (03)4413-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	103,525	15.8	12,671	77.5	13,895	80.4	10,249	119.7
2021年3月期第2四半期	89,370	△11.5	7,137	△28.4	7,700	△23.3	4,666	△33.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 12,346百万円(114.4%) 2021年3月期第2四半期 5,759百万円(△19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	154.51	—
2021年3月期第2四半期	70.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	230,330	146,560	63.2
2021年3月期	219,602	136,450	61.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 145,458百万円 2021年3月期 135,429百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	38.00	—	40.00	78.00
2022年3月期	—	42.00			
2022年3月期(予想)			—	40.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	210,000	6.9	25,000	27.4	26,000	22.2	18,000	68.0
								271.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	67,811,917株	2021年3月期	67,811,917株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,478,812株	2021年3月期	1,477,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	66,333,551株	2021年3月期2Q	66,335,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件、各項目の変動要因など、業績予想等に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足説明資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は依然として厳しい状況にあります。日本においては、製造業では設備投資や生産は持ち直しており、輸出も緩やかな増加が続いております。海外においては、新興国では感染の再拡大により景気は厳しい状態にあるものの、米国では着実に持ち直しており、中国では緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社グループにおいては、半導体製造装置向け製品の需要が高水準で推移したことに加え、自動車部品の需要が新型コロナウイルス感染症の流行前の水準まで回復したことにより、当社グループの売上高は、前年同四半期に対し15.8%増の1,035億25百万円となりました。

利益面では、営業利益が126億71百万円、経常利益が138億95百万円、親会社株主に属する四半期純利益が102億49百万円となり前年同四半期と比較し、それぞれ77.5%、80.4%、119.7%の増加となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用したことに伴い、当該会計基準適用前と比べ当第2四半期連結累計期間の売上高が12億30百万円増加し、営業利益及び経常利益がそれぞれ82百万円増加しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)および(セグメント情報等) セグメント情報 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

**プラント向け工事・販売**については、収益認識会計基準等の適用に伴う工事契約に係る収益認識の方法の変更により売上高が増加しましたが、石油精製・石油化学向けの定期修理工事の件数が減少したため、売上高は前年同四半期に対し0.8%減の280億30百万円となりました。

**工業製品**については、電子部品・半導体関連市場の回復により、ふっ素樹脂製品、無機断熱材製品の需要が堅調に推移したことに加え、中国市場での環境製品の需要が高水準で推移したため、売上高は前年同四半期に対し9.4%増の228億1百万円となりました。

**高機能製品**については、半導体の需要が好調に推移したため、売上高は前年同四半期に対し49.3%増の168億26百万円となりました。

**自動車部品**については、前年同四半期に新型コロナウイルス感染症の影響による自動車の世界的な需要減がありましたが、前年第3四半期以降、国内外の需要は回復しているため、売上高は前年同四半期に対し37.4%増の221億60百万円となりました。

**建材**については、新型コロナウイルス感染症の影響による着工の遅れ、工期遅延や需要の落込みの影響を受けましたが、主に収益認識会計基準等の適用に伴い工事契約に係る収益認識の方法を変更したことで、売上高は前年同四半期に対し6.6%増の137億6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に収益認識会計基準等の適用に伴い工事契約に係る収益認識の方法を変更したことにより、未成工事支出金が44億50百万円減少しましたが、現金及び預金が124億50百万円、原材料及び貯蔵品が13億51百万円、商品及び製品が6億95百万円、仕掛品が4億73百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して107億27百万円増加の2,303億30百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が10億79百万円減少しましたが、賞与引当金が8億84百万円、電子記録債務が8億39百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して6億17百万円増加の837億69百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が80億24百万円、その他有価証券評価差額金が11億48百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して101億9百万円増加の1,465億60百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して121億82百万円増加し517億72百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は154億75百万円（前年同四半期は80億61百万円の獲得）となりました。

これは、法人税等の支払額37億41百万円、棚卸資産の増加20億98百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益140億22百万円、売上債権の減少53億76百万円および減価償却費30億83百万円等により資金が増加したことによります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は8億46百万円（前年同四半期は31億88百万円の支出）となりました。

これは、関係会社の清算による収入15億47百万円等により資金が増加しましたが、有形固定資産の取得による支出19億18百万円等により資金が減少したことによります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は28億4百万円（前年同四半期は27億15百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額26億50百万円等により資金が減少したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年10月18日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した予想から変更ありません。

なお、上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,799	52,249
受取手形及び売掛金	29,589	29,261
電子記録債権	10,508	10,576
完成工事未収入金	18,869	18,831
商品及び製品	15,401	16,096
仕掛品	2,823	3,296
原材料及び貯蔵品	9,591	10,942
未成工事支出金	5,851	1,401
その他	3,229	3,274
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	135,645	145,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,520	60,744
減価償却累計額及び減損損失累計額	△34,880	△35,784
建物及び構築物（純額）	24,640	24,960
機械装置及び運搬具	78,226	81,574
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,161	△68,111
機械装置及び運搬具（純額）	12,064	13,462
土地	14,118	14,132
リース資産	372	366
減価償却累計額	△251	△284
リース資産（純額）	120	81
建設仮勘定	4,885	2,797
その他	10,500	10,982
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,940	△9,257
その他（純額）	1,560	1,725
有形固定資産合計	57,391	57,159
無形固定資産		
ソフトウェア	761	803
その他	574	526
無形固定資産合計	1,335	1,330
投資その他の資産		
投資有価証券	18,379	18,824
退職給付に係る資産	1,635	1,663
繰延税金資産	1,301	1,330
その他	3,945	4,137
貸倒引当金	△30	△27
投資その他の資産合計	25,230	25,928
固定資産合計	83,957	84,418
資産合計	219,602	230,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,184	18,104
電子記録債務	12,240	13,080
1年内償還予定の社債	400	200
短期借入金	6,805	7,125
未払金	4,887	4,802
未払法人税等	3,750	4,128
未成工事受入金	1,188	254
賞与引当金	3,175	4,060
その他	4,224	4,766
流動負債合計	55,857	56,523
固定負債		
社債	13,000	13,000
長期借入金	3,912	3,620
繰延税金負債	2,264	2,609
退職給付に係る負債	4,352	4,425
訴訟損失引当金	837	741
その他	2,928	2,848
固定負債合計	27,294	27,246
負債合計	83,151	83,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,128	12,128
資本剰余金	13,857	13,857
利益剰余金	106,880	114,905
自己株式	△4,056	△4,058
株主資本合計	128,810	136,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,922	10,070
為替換算調整勘定	△1,027	△217
退職給付に係る調整累計額	△1,275	△1,225
その他の包括利益累計額合計	6,618	8,626
非支配株主持分	1,021	1,102
純資産合計	136,450	146,560
負債純資産合計	219,602	230,330

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	63,720	76,452
完成工事高	25,650	27,073
売上高合計	89,370	103,525
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	47,624	54,540
完成工事原価	21,716	23,082
売上原価合計	69,340	77,622
<b>売上総利益</b>	20,029	25,903
<b>販売費及び一般管理費</b>		
販売費	3,976	3,965
一般管理費	8,916	9,266
販売費及び一般管理費合計	12,892	13,231
<b>営業利益</b>	7,137	12,671
<b>営業外収益</b>		
受取利息	48	41
受取配当金	236	227
為替差益	—	386
受取賃貸料	259	275
持分法による投資利益	29	38
雇用調整助成金等	251	121
その他	337	291
営業外収益合計	1,162	1,382
<b>営業外費用</b>		
支払利息	69	62
為替差損	328	—
その他	200	96
営業外費用合計	599	158
<b>経常利益</b>	7,700	13,895
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	377	5
補助金収入	51	—
関係会社清算益	—	311
特別利益合計	429	316
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	76	67
固定資産圧縮損	45	—
訴訟損失引当金繰入額	590	32
新型コロナウイルス感染症による損失	104	16
災害による損失	—	73
特別損失合計	816	189
税金等調整前四半期純利益	7,313	14,022
法人税、住民税及び事業税	2,549	4,126
法人税等調整額	71	△420
法人税等合計	2,621	3,706
四半期純利益	4,691	10,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	67
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,666	10,249



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	4,691	10,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,549	1,148
為替換算調整勘定	△643	832
退職給付に係る調整額	161	49
その他の包括利益合計	1,067	2,029
四半期包括利益	5,759	12,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,738	12,256
非支配株主に係る四半期包括利益	20	89

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,313	14,022
減価償却費	3,184	3,083
有形固定資産売却損益(△は益)	△377	△5
関係会社清算損益(△は益)	—	△311
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	67	73
賞与引当金の増減額(△は減少)	451	879
受取利息及び受取配当金	△285	△269
支払利息	69	62
為替差損益(△は益)	410	△376
売上債権の増減額(△は増加)	6,578	5,376
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,442	△2,098
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,948	△219
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,889	△436
未払金の増減額(△は減少)	△1,373	△684
未払費用の増減額(△は減少)	△24	69
未成工事受入金の増減額(△は減少)	876	9
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	585	△95
固定資産圧縮損	45	—
補助金収入	△51	—
雇用調整助成金等	△251	△121
新型コロナウイルス感染症による損失	104	16
災害による損失	—	73
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△62	△28
その他	△233	19
小計	10,746	19,042
利息及び配当金の受取額	285	269
利息の支払額	△68	△60
補助金の受取額	51	23
雇用調整助成金等の受取額	219	16
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△56	△16
災害による損失の支払額	—	△69
法人税等の支払額	△3,128	△3,741
法人税等の還付額	12	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,061	15,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	406	△267
有形固定資産の取得による支出	△3,935	△1,918
有形固定資産の売却による収入	402	8
無形固定資産の取得による支出	△133	△140
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△0	△3
貸付金の回収による収入	1	2
関係会社の清算による収入	—	1,547
その他	68	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,188	△846

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	117	20
長期借入れによる収入	500	117
長期借入金の返済による支出	△500	—
社債の償還による支出	△200	△200
配当金の支払額	△2,518	△2,650
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△2
非支配株主への配当金の支払額	△8	△9
その他	△105	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,715	△2,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△381	358
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,775	12,182
現金及び現金同等物の期首残高	33,108	39,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,883	51,772

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は以下の通りです。

・ 工事契約に係る収益認識

従来、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を採用し、その他の工事については工事完成基準を採用しておりましたが、少額かつごく短期間の工事を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,230百万円増加し、売上原価は1,407百万円増加し、販売費及び一般管理費は259百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ82百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は428百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,259	20,844	11,272	16,131	12,862	89,370	—	89,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,467	—	—	—	4,467	△4,467	—
計	28,259	25,312	11,272	16,131	12,862	93,838	△4,467	89,370
セグメント利益又は 損失(△)	3,203	2,683	1,378	82	△210	7,137	—	7,137

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラント 向け 工事・販売	工業製品	高機能 製品	自動車 部品	建材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,030	22,801	16,826	22,160	13,706	103,525	—	103,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,026	—	—	—	4,026	△4,026	—
計	28,030	26,828	16,826	22,160	13,706	107,552	△4,026	103,525
セグメント利益	2,596	3,916	3,716	2,302	139	12,671	—	12,671

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「プラント向け工事・販売」の売上高は645百万円増加、セグメント利益は66百万円増加し、「工業製品」の売上高は101百万円減少し、「高機能製品」の売上高は56百万円減少し、「建材」の売上高は742百万円増加、セグメント利益は15百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

3. 補足説明資料

2022年3月期 第2四半期決算発表 補足資料

(1) 連結主要数値の推移

(単位:百万円)

	半期			通期					
	2021年3月期	2022年3月期		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
	第2四半期累計実績	第2四半期累計実績	前期比増減率	実績	実績	実績	実績	予想	前期比増減率
売上高	89,370	103,525	15.8%	197,495	215,495	208,876	196,372	210,000	6.9%
営業利益	7,137	12,671	77.5%	21,357	22,629	20,427	19,616	25,000	27.4%
営業利益率(%)	8.0%	12.2%		10.8%	10.5%	9.8%	10.0%	11.9%	
経常利益	7,700	13,895	80.4%	21,804	23,171	21,633	21,279	26,000	22.2%
経常利益率(%)	8.6%	13.4%		11.0%	10.8%	10.4%	10.8%	12.4%	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,666	10,249	119.7%	14,956	15,861	14,674	10,715	18,000	68.0%
当期純利益率(%)	5.2%	9.9%		7.6%	7.4%	7.0%	5.5%	8.6%	
1株当たり当期純利益(円)	70.34	154.51	119.7%	222.73	238.70	221.21	161.53	271.36	68.0%
総資産	208,660	230,330	10.4%	196,459	206,426	208,076	219,602	—	—
純資産	130,463	146,560	12.3%	109,705	117,774	127,233	136,450	—	—
自己資本	129,514	145,458	12.3%	109,195	116,786	126,297	135,429	—	—
自己資本比率(%)	62.1%	63.2%		55.6%	56.6%	60.7%	61.7%	—	—
有利子負債	25,933	25,652	△ 1.1%	23,818	26,065	26,077	25,861	—	—
有利子負債依存度(%)	12.4%	11.1%		12.1%	12.6%	12.5%	11.8%	—	—
設備投資額	4,279	2,337	△ 45.4%	12,772	12,816	8,978	7,703	11,500	49.3%
減価償却費	3,184	3,083	△ 3.2%	4,800	5,760	6,274	6,536	6,300	△ 3.6%
研究開発費	2,988	2,746	△ 8.1%	5,692	5,976	6,132	6,168	6,000	△ 2.7%

※1 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019年度3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※3 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

(2) 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	前期比増減率
売上高	43,048	46,322	49,300	57,700	52,272	51,253	10.6%
営業利益	3,803	3,333	5,208	7,270	6,600	6,071	82.1%
営業利益率(%)	8.8%	7.2%	10.6%	12.6%	12.6%	11.8%	
経常利益	3,320	4,380	5,412	8,166	7,208	6,686	52.7%
経常利益率(%)	7.7%	9.5%	11.0%	14.2%	13.8%	13.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,829	2,836	3,792	2,257	5,416	4,832	70.4%
当期純利益率(%)	4.3%	6.1%	7.7%	3.9%	10.4%	9.4%	

※本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。